

私の音楽はどこまでも続いている

福島町立福島中学校 前吹奏楽部部長 3年 寺澤 聡美

最後の定期演奏会、今年はたくさんの先輩方と演奏できました。先輩方と演奏できたのは本当に久しぶりで迫力がすごいなと感じました。1・2年前の定期演奏会を思い出し、すごく懐かしくて思わず涙が出てしまいました。



この定期演奏会で私は後輩の成長を感じることができました。4月から一緒に練習してきて、最初は何も分からず笑うことすら難しかった1年生も、定期演奏会では練習してきたことをしっかり生かして楽しそうに演奏していました。2年生も初めは先輩呼びに慣れていない感じがして、戸惑っていた部分もありましたが、定期演奏会では先輩らしさを滲み出しており、曲のソロやメロディーを綺麗に吹いていて素晴らしい演奏をしてくれました。それだけではありません。今年

の定期演奏会は観客百人を目標に町にポスターを貼ったり、呼びかけをしたりと部員で力をあわせながら準備をしました。初めて来てくれた方もいて、あの時やって良かったなと思いました。

私は吹奏楽が本当に大好きで引退するのが寂しく、アンコールで泣いてしまいました。それでも最後まで吹き続けて終わることができました。演奏後、たくさんの方々が「おつかれさま!」「良かったよ!」とありがたいお言葉をいただき、本当に嬉しい気持ちでいっぱいでした。

私が吹奏楽部に入部しようと思ったきっかけは、ある町のイベントでした。小学生の頃からピアノを習っていて音楽がとても好きでした。小学生の頃の私は中学校に吹奏楽部があることを知らずに過ごしていました。そんなある日、町のイベントで町民文化祭がありました。そこで初めて吹奏楽部を知りました。私の知っている先輩方がキラキラと光った楽器を手に持ち、綺麗に吹いている姿に心をうごかされました。そこで私は「私も吹奏楽部に入って先輩方のようにになりたい!」と思いました。そして中学に入り、私は夢だった吹奏楽部に入ることができました。はじめは思うように上手いかず、諦めていた部分もありましたが、先輩達が優しく丁寧に教えてくれたおかげで上手くなりました。



1年生の頃のスローガンは「Brillante」でした。「Brillante」とは音楽記号で「輝くように」という意味が込められています。このスローガンを意識して休みの日は楽器を持って帰って家で練習したり、外で練習したりしました。それを繰り返していくうちにあっという間に初めての定期演奏会がやってきました。その時の定期演奏会は緊張しすぎて練習の通りに上手く吹けませんでした。楽しく終わることができて嬉しかったなと思いました。先輩方が卒業して私は2年生になりました。2年生の頃のスロ

ーガンは「一音入魂」でした。初めての後輩ができ、「しっかりしなきゃいけない」と感じました。先輩に教えることが多くなり、1年生の頃と比べて一日に練習する時間が少なくなってしまいました。それでも課題をしっかり見つけて練習に励みました。そして二度目の定期演奏会がやってきました。1年生の頃と比べて、時間が過ぎるのが早いと感じながら演奏していました。大好きな先輩方が引退するのはすごく悲しかったけど笑いながら終わることができました。

福島中学校吹奏楽部
第19回 定期演奏会
～3年生引退コンサート～



○日時 令和5年10月22日(日)
開場14時 開演14時30分
○場所 福島中学校体育館

しばらくして私は部長になりました。はじめは友達もいるし何かあったら助けてくれるから大丈夫と思っていました。ですが、部長は自分が思っていた以上に大変で辞めたいと思う気持ちでいっぱいでした。そんな時に助けてくれたのが、家族、友達そして担任の先生でした。そのおかげで私は前向きになり、ソロコンテストにも出場して思い出になりました。そして3年生になり顧問の先生が代わり、新入生も入部してくれました。いろいろ不安があり悩んだこともありますが、友達と協力して練習してきました。今年のスローガン「思想響心」を部員で考えて決めました。この目標が定期演奏会に生かされればいいなと思いました。3年生になってから部活で起こったことに対してなんでも自分の責任だと責めるようになりました。そんな私に友達は「責任を負わなくていい」と言ってくれました。私は少し心がほっとしました。月日がたち、最後の定期演奏会がや

ってきました。この定期演奏会で感じたことは、あの時苦労したからこそ今の自分がいるんだなと思いました。目標だった思想響心を達成することができたと思います。後輩たちには私の気持ちが伝わってくれるといいなと思います。そして聞いてくださるお客様に感謝の気持ちを込めて精一杯演奏をしてほしいなと思います。そうしたらきっと吹奏楽の楽しさを知ることができると思います。

この3年間、自分の心に「音を楽しむと書いて音楽」と言い聞かせてきました。小学生の頃から夢だった吹奏楽に入り、たくさん演奏してたくさん思い出に残りました。ここまで支えてくれた家族、友達、担任の先生に恩返しをしていきたいなと思います。高校でも吹奏楽を続けるかわかりませんが、吹奏楽を忘れずに過ごしていきたいなと思います。

